

令和3年度 市の予算

市議会2月定例会で、令和3年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計は、397億9300万円。前年度と比較し6億9400万円、13・3%減となりました。新たな時代の核となる重点プロジェクトを推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の克服に向けた施策に対して、重点的に予算配分しています。

問 財政課 ☎ 36-7123

市長施政方針

コロナ禍により社会の価値観が大きく変わろうとする時に、前例踏襲やこれまでの成功体験は通用しません。柔軟な発想で、スピード感ある施策を打つことで、理想とする都市経営の姿に近づき、新たな未来を切り拓くことができます。

今年は、第2次総合計画後期基本計画を策定する重要

な年です。目指すべき姿を描く後期基本計画は、まさに、このまちのすべての人々の暮らしの質を高め、まちの価値を高める羅針盤として、新たな未来へと導くものです。

次の世代にも選ばれる持続可能なまち「島田市」を創ることを目標に、市民の想いに心を寄せ、常に新しい発想で市政運営にまい進していきます。

時代の転換期

未来に向けてチャレンジすること

市民の命と暮らしを守る

▶新型コロナウイルスのワクチン接種は、市民の皆さんの命を守るものです。迅速・適切に行えるように、準備を進めているところです。また、災害発生時における市役所機能の維持および復旧・復興の拠点として、建て替えの判断をした市役所本庁舎は、今年、本体建設工事に着手します。

南海トラフ地震をはじめ、大型台風などの自然災害、さらにはテロや武力攻撃といったあらゆる危機を想定し、引き続き危機管理の強化を図り、市民の命と暮らしを守ります。

SDGsの推進

▶持続可能な開発目標「SDGs」は、現在も未来も、人類が安全・安心に、平和に、そして幸せに生きていくための世界共通の目標です。島田市では、3月に「ゼロ・カーボンシティ」を表明しました。県内のガス事業者と協定を締結し、島田浄化センターなど7カ所の公共施設の屋上に太陽光発電設備を導入するなど、温室効果ガスが排出されないエネルギーの活用に取り組んでいるところです。

将来的なSDGs未来都市認定を視野に入れ、後期基本計画へSDGsに係る施策を積極的に位置付けます。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

▶デジタル技術は手段であり、その目的は市民生活の向上です。現在、登録者数6万人を超える「島田市公式LINE」は、必要な人に必要な情報をタイムリーかつ的確に届けます。また「デジタル活用支援員派遣事業」など、一人一人に寄り添った取り組みを進めていきます。

さらに、ICTの恩恵を商工業や観光、農林業などの産業分野に波及させるため、デジタル技術を活用した稼ぐ仕組みの構築を、後期基本計画に強く位置付けます。

観光の推進

▶豊富な歴史資源・地域資源を活用した観光振興は、アフターコロナを見据えたまちづくりの大切な柱です。昨年に策定した文化芸術推進計画に基づき、さまざまな資源を確実に後世へつなぎながら、魅力を積極的に発信し、見て、体験してもらう施策を推進します。

KADODE OOIGAWAで培った民間事業者との連携により、「川越遺跡」の観光資源としての魅力をスピード感をもって高めていきます。さらに、蓬萊橋左岸側エリアの整備など「観光で稼ぐ」取り組みを具体的に展開します。

2 教育

子育て・教育環境が充実するまちづくり



ロボホンを使ったプログラミング講座 (島田二中)

○認定こども園等施設型給付費	14 億 2,583 万円
○島田第四小学校改築事業	6 億 2,123 万円
○放課後児童クラブ運営事業	2 億 4,685 万円
○島田第一小学校改築事業	1 億 3,485 万円
◎ ICT 支援員配置経費	3,478 万円
◎小中学校プログラミング教育推進事業	587 万円
◎ IT キャンプ事業	300 万円
○ネウボラ推進事業	163 万円

3 経済

地域経済を力強くリードするまちづくり



和菓子バル (川越し街道)

○企業立地促進事業費補助金	2 億 6,965 万円
○島田市観光協会補助金	9,357 万円
○川越し街道賑わい創出事業	1,315 万円
◎サテライトオフィス等進出事業費補助金	800 万円
◎コワーキングスペース運営事業費補助金	350 万円
◎勤労者キャリア教育支援事業	300 万円
◎ビジネスニーズ参入支援事業費補助金	300 万円
◎街道宿場イベント事業 (和菓子バルなど)	141 万円

令和3年度

主要事業

令和3年度当初予算に計上した主要事業について、島田市総合計画で取り組む7つのテーマに分けて紹介します。

◎は、令和3年度の新規事業です。

7つのテーマ

1 安全

安全ですこやかに暮らせるまちづくり



大規模停電対策事前伐採事業

○消防救急広域事務委託費	10 億 5,478 万円
○養護老人ホームぎんもくせい管理運営経費	1 億 3,002 万円
○がん検診事業	7,964 万円
○水防対策事業	2,141 万円
◎狭あい道路拡幅整備事業	561 万円
○しまトレ推進事業	320 万円
◎大規模停電対策事前伐採事業	286 万円
◎子どもの学習・生活支援事業	120 万円

6 基盤

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり



整備が進む島田金谷インターチェンジ周辺

○ふじのくにフロンティア推進区域整備事業	5億 2,924 万円
○新病院入口交差点改良事業	2億 5,250 万円
○色尾大柳線改良事業	1億 6,450 万円
○向島町公園整備事業	8,000 万円
○六合駅前広場整備事業	6,600 万円
○河川改修事業	4,432 万円
○都市計画決定等事務費	1,030 万円
○景観形成事業（大井川川越遺跡周辺）	314 万円

4 環境

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり



田代環境プラザ

○ガス化溶融施設管理運営経費	10億 3,009 万円
○コミュニティバス運行管理経費	2億 6,348 万円
○リサイクル事業	2億 2,420 万円
○森林環境整備促進事業	2,900 万円
○住宅用省エネルギー利用設備設置促進事業	970 万円
○中古住宅活用促進事業	950 万円
◎緑の基本計画作成事業	700 万円
◎多文化共生事業	30 万円

7 経営

人口減少社会に挑戦する経営改革



後期基本計画策定のための地区別ワークショップ

○旧金谷庁舎跡地利活用事業	1億 9,155 万円
○市役所新庁舎整備事業	1億 8,960 万円
○個人番号カード交付事業	5,998 万円
○デジタルマーケティング施策推進事業	5,211 万円
○自治会活動支援事業	3,703 万円
○デジタル変革推進事業	2,292 万円
○協働のまちづくり推進事業	622 万円
○第2次総合計画後期基本計画策定事業	352 万円

5 文化

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり



諏訪原城応援隊長に就任した春風亭昇太師匠

○文化施設管理運営経費	1億 5,871 万円
○オリンピック・パラリンピック合宿経費	2,711 万円
○諏訪原城跡整備事業	1,484 万円
○地域おこし協力隊派遣事業	867 万円
○シティプロモーション推進事業	796 万円
○移住者住宅取得支援事業	552 万円
◎博物館展示施設改修事業	424 万円
○東京オリンピック聖火リレー運営事業	100 万円

397 億9,300 万円

◎市の会計の構成

島田市の会計は、一般会計と特別会計、そして企業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済、教育など市の全般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業など6つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、現在は水道事業、病院事業、公共下水道事業の3つの企業会計を設けています。

◎一般会計当初予算

【歳出】

衛生費は、新病院建設事業に係る出資金の減などにより、前年度比37億1900万円(43・4%)の減額となっています。

また教育費は、島田第四小学校改築事業の減などにより、前年度比13億8717万円(23・5%)の減額となっています。

一方、商工費は、企業立地促進事業費補助金の増などにより、前年度比3億3505万円(55・2%)の増額となっています。

会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	397 億 9,300 万円	△ 13.3%
II 特別会計	206 億 5,173 万円	1.2%
国民健康保険事業	93 億 101 万円	△ 2.0%
土地取得事業	7 億 5,967 万円	0.0%
休日急患診療事業	6,663 万円	158.1%
介護保険事業	91 億 4,879 万円	4.1%
介護サービス事業	8,558 万円	21.6%
後期高齢者医療事業	12 億 9,005 万円	1.2%
III 企業会計	248 億 8,175 万円	△ 21.8%
水道事業	21 億 8,733 万円	△ 13.8%
病院事業	211 億 9,304 万円	△ 24.0%
公共下水道事業	15 億 138 万円	6.8%
合計	853 億 2,648 万円	△ 13.0%

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
消費的経費 68.1%	人件費	15.7%
	物件費	20.1%
	扶助費	21.2%
	補助費等	10.7%
	維持補修費	0.4%
投資的経費 11.4%	普通建設事業費	11.3%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 20.3%	公債費	10.9%
	繰出金	6.0%
	投資及び出資金等	3.4%
予備費 0.2%		0.2%

市民1人当たりの
歳出予算は

40 万 7,594 円

※令和3年2月28日現在の人口9万7,629人で算出。

令和3年度 一般会計 当初予算

市債年度末残高見込額

区分	残高見込額		増減率
	R2年度末	R3年度末	
一般会計	434 億 5,198 万円	439 億 2,810 万円	1.1%
水道事業	32 億 6,809 万円	33 億 5,497 万円	2.7%
病院事業	157 億 9,110 万円	169 億 3,766 万円	7.3%
公共下水道事業	34 億 9,766 万円	33 億 7,487 万円	△ 3.5%
合計	660 億 883 万円	675 億 9,560 万円	2.4%

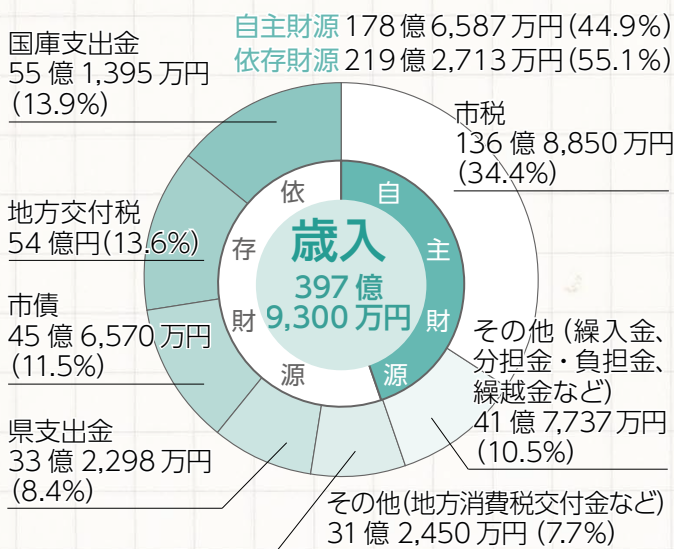
※数値は端数処理で調整。

【歳入】
自主財源では、前年度比で見ると、市税が新型コロナウイルス感染症による経済変動の影響などにより6億9863万円（4.9%）の減額。さらに、繰入金が新病院建設基金繰入金の減などにより17億215万円（48・7%）の減額となりました。

一方、寄付金がふると寄付金の増などにより2161万円（12%）の増額となり、自主財源比率は前年度比0.7ポイント上昇しました。

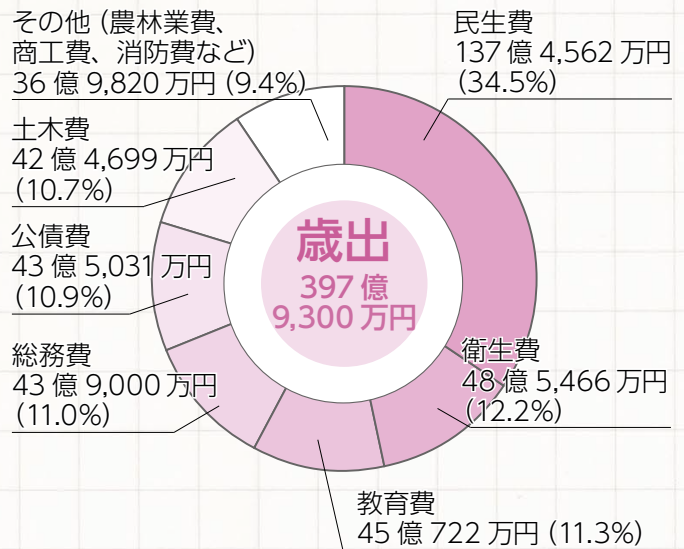
依存財源では、国庫支出金が島田第四小学校改築事業に係る補助金の減などにより5億8519万円（9.6%）の減額。市債が衛生債、教育債などの借入れの減により、32億3130万円（41・4%）の減額となりました。

歳入の内訳(構成比:%)



※数値は端数処理で調整。

歳出の内訳(構成比:%)



※数値は端数処理で調整。

用語の解説

【歳出の部(性質別分類)】

物件費／施設の保守管理および一般事務
扶助費／生活扶助、医療扶助など
普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新築・増築など
繰入金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など

【歳入の部(目的別分類)】

民生費／児童、高齢者、障害者福祉など
衛生費／保健事業やごみ処理など
教育費／学校教育や社会教育など
総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理など
土木費／道路・河川・公園の整備、市営住宅の管理など
公債費／市債の返済金と利子の支払い

【歳入の部】

市税／市民税などに市に納められた税金
繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
分担金・負担金／保育所入園者の負担金など
国庫(県)支出金／国(県)からの補助金、負担金など
地方交付税／市町村の実状に合わせ国から交付されるもの
市債／市が借り入れるお金